

# 柔道少年団中学生女子団体 全道準V、全日本へ

## 受け継がれる、強き心

7月21日(日)、野幌総合運動公園総合体育館で行われた「第33回マルちゃん杯北海道少年柔道大会」で、準優勝に輝いた南幌町柔道少年団の中学生女子団体チーム。9月22日(日)に東京武道館で開かれる全日本大会への出場権をつかみ、女子団体としての初出場を決めました。

チームは3年生2人、2年生2人の小学生時代から競い励まし高め合ってきた4人。「無名だった彼女たちが、個人でもそれぞれが全道の優勝候補として名が挙がるまでに成長できたのは、並々ならぬ努力を続けてきた証。」と、南幌町の柔道家のほとんどを見守ってきた指導者の浅野茂さん(西町)は感慨深げに話しました。

南幌町柔道少年団は、長い歴史の中でこれまでも個人・団体

それぞれで全道優勝や全日本大会出場を複数回果たし、多くの強豪選手を輩出してきました。その強さの秘訣は一体どこにあるのか、その一つに「幼児・小中学生一貫」の指導法があります。

現在、団には幼児4名、小学生25名、中学生17名が所属し週に2回、合同練習を行っています。また、多くのOB・OGの方が今も後輩達を気に掛け、時には練習や大会を見守ります。そういった環境が上級生にとつての刺激となり、下級生はその背中を見て育つのでしょうか。

今回、代表となった4人もきつとそう。目標としていた舞台で彼女たちが見た景色、新たに得たものが次の世代、また次の世代へと伝わっていくことを願っています。





この日の練習には、高校の柔道部で活躍を続ける卒団生が駆けつけ、後輩たちに“崩し”の極意を伝えました。熱い眼差しを送る下級生の姿に胸を打たれます。

## 🎉全日本大会出場選手🎉



主将 大館香珀さん 南幌中学校3年  
得意技：背負投

全日本の舞台で戦えること、送り出してくださる方々がいることへの感謝の気持ちを大切にしたいです。そして、そこで得たことや見つけた課題を後輩たちに伝えられたらと思います。メンバーの3人は本当にしっかりしているので、私も主将としてチームの勝利を呼び込めるよう精一杯頑張ります。



副主将 瀬川夏生さん 南幌中学校3年  
得意技：大内刈

中学校のラストを締めくくりにふさわしい大会にしたいです。そのためには、副主将として香珀を支え、実愛とあさひが普段の力を出せるよう、私がチームを盛り上げていきたいです。そして、どんな相手だろうと自分の力を出し切って、今後の柔道人生に生きるような試合をしたいと思います。



久保実愛さん 南幌中学校2年  
得意技：内股

自分が勝つことで、チームの勝利を引き寄せることができると思うので、とにかくそこに集中したいです。全国で戦う相手は、どこもそれぞれの予選を勝ち抜いてきているので、必ず厳しい勝負になると思います。でも、そこで弱気にはならないで、自分たちがやってきたことを信じ、自信を持って挑みたいと思います。



小野島あさひさん 南幌中学校2年  
得意技：袖釣込腰

初めての全日本大会ということで、正直、楽しみよりもレベルの高さに対しての不安のほうが大きいです。でも、自分の力を信じて、常に勝ちを狙っていくことは予選と変わりません。最後まで諦めずに全員がベストを尽くすことができれば、きっと良い結果が付いてくると思います。



### 全道大会の試合結果

- 1 回戦 対 稚内柔道スポーツ少年団 (稚内)  
○ 2 - 0
- 2 回戦 対 札幌西区柔道少年団 (札幌)  
○ 3 - 0
- 準々決勝 対 西山道場柔道少年団 (十勝)  
○ 2 - 0
- 準決勝 対 旭川市立永山中学校 A (旭川)  
○ 2 - 1
- 決勝 対 帯広柔道少年団 A (十勝)  
× 0 - 2